

# 2010年3月期 決算説明会

**NHKニッパツ**  
日本発条株式会社  
2010年5月18日

# 当社の事業運営について

代表取締役社長 天木 武彦

# 当社の事業運営について

## 1. 事業方針

## 2. 配当の考え方

# 1. 事業方針

## 1-1. 経営目標

企業体質・収益基盤の強化と  
グローバル成長戦略への挑戦

## 1-2. 今期の事業方針

～回復への再出発、次の成長への礎～

- ①各事業のグローバル成長戦略の実現
- ②製品・サービス競争力の強化
- ③CSR活動の積極的な推進

## 1-2. 今期の事業方針

### ①各事業のグローバル成長戦略の実現

*拠点毎の生産体制の見直しと拡充*

## 1-2. 今期の事業方針

### ②製品・サービス競争力の強化

**「開発力」と「ものづくり力」の強化**

## 1-2. 今期の事業方針

### ③CSR活動の積極的な推進

*コンプライアンスを根幹としたCSR経営の推進*

## 2. 配当の考え方

### ①配当の状況

2009年3月期 中間 7円 期末3.5円

2010年3月期 中間3.5円 期末 7円

### ②今期の配当の考え方

安定的な配当を基本に、今後の状況を見極めて判断したい。

# 決算の概要について

執行役員経理部長 瓜生誠二郎

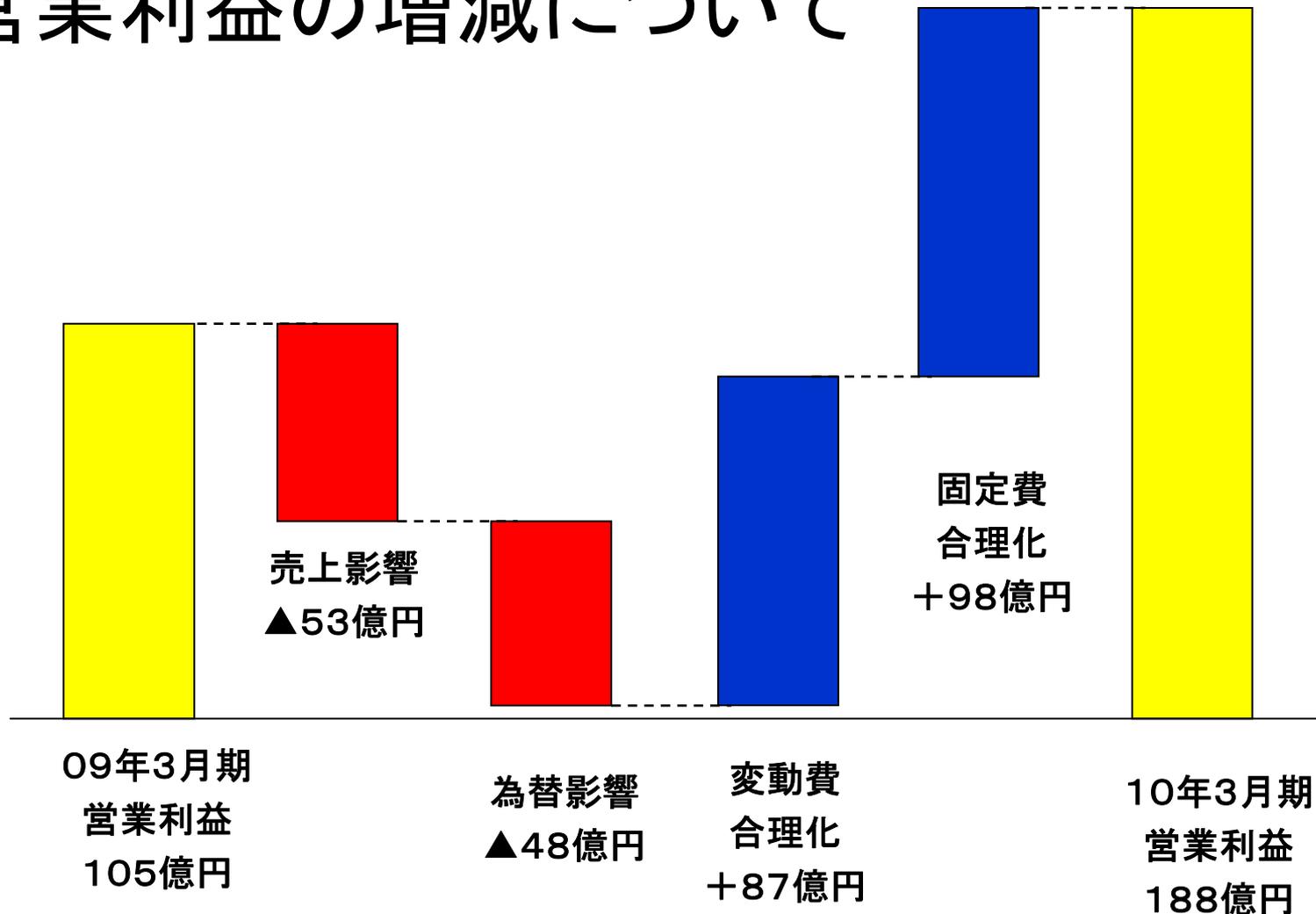
## 決算の概要について

1. 2010年3月期実績概要説明
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:億円)

	09年3月期	10年3月期	増減額	増減率
売上高	4,409	4,041	▲368	▲8.3%
営業利益	105	188	+83	79.6%
経常利益	129	176	+47	36.4%
当期利益	53	103	+50	95.6%

## 営業利益の増減について



(単位:億円)

	2009年 3月末	2010年 3月末	増減額	増減率
総資産	3,249	3,571	+322	+9.9%
自己資本	1,160	1,342	+182	+15.8%
有利子負債	861	662	▲199	▲23.0%

# 2010年3月期実績概要説明

分野別	項目	09年3月期	10年3月期	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,012	816	▲196	▲19.3%
	営業利益	4	5	+1	+36.0%
	率	0.3%	0.6%	—	—
シート	売上高	1,699	1,633	▲66	▲3.8%
	営業利益	35	69	+34	+93.6%
	率	2.1%	4.2%	—	—
精密部品	売上高	1,324	1,269	▲55	▲4.1%
	営業利益	43	93	+50	+115.7%
	率	3.3%	7.4%	—	—
産業機器 ほか	売上高	374	323	▲51	▲13.8%
	営業利益	23	21	▲2	▲5.4%
	率	6.0%	6.6%	—	—
合計	売上高	4,409	4,041	▲368	▲8.3%
	営業利益	105	188	+83	+79.6%
	率	2.4%	4.6%	—	—

(単位:億円)

分野別	項目	09年3月期	10年3月期	増減額	増減率
日 本	売上高	3,164	3,044	▲120	▲3.8%
	営業利益	14	97	+83	+584.1%
	率	0.4%	3.2%	—	—
北 米	売上高	460	375	▲85	▲18.5%
	営業利益	2	6	+4	+224.0%
	率	0.4%	1.7%	—	—
アジア	売上高	912	794	▲118	▲12.8%
	営業利益	89	85	▲4	▲4.4%
	率	9.7%	10.6%	—	—
消去	売上高	▲127	▲172	▲45	—
合計	売上高	4,409	4,041	▲368	▲8.3%
	営業利益	105	188	+83	+79.6%
	率	2.4%	4.6%	—	—

(単位:億円)

## 事業別・所在地（連結売上構成比）

項目	日本	北米	アジア	合計
懸架ばね	14%	4%	4%	22%
シート	32%	4%	4%	40%
精密部品	20%	—	9%	29%
産機ほか	9%	—	—	9%
合計	75%	8%	17%	100%

(参考値)

## 主要カーメーカー別（連結売上構成比）

主要カーメーカー	09年3月期	10年3月期
トヨタグループ	18%	18%
日産グループ	12%	13%
富士重グループ	11%	12%
スズキグループ	6%	6%
ホンダグループ	5%	4%
いすゞグループ	5%	4%
マツダグループ	2%	2%
米系カーメーカー	2%	1%
UDトラックス	—	—
三菱ふそうトラック・バス	—	—
三菱自動車グループ	—	—

（参考値）

# 設備投資・減価償却費・研究開発費 **NHKニッパツ**

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 実績	11年3月期 予想
設備投資	348	186	195
減価償却費	266	241	224
研究開発費	105	96	97

# 今期の見通しおよび 当面の課題と今後の対応について

執行役員経営企画部長 八代 隆二

# 1. 今期の見通し

- ①国内自動車生産台数前提について
- ②為替前提について
- ③HDDサスペンション事業について

# 2. 当面の課題と今後の対応

## ①国内自動車生産台数通期前提について

(単位:万台)

	上期	下期	通期
10年3月期 実績	386	501	887
11年3月期 予想	442	478	920
増減	+56	▲23	+33

## ②為替前提について

- 為替レート

90円/米ドル、2.7円/パーツ

- 為替感応度（営業利益への影響）

米ドル; 1円当たり 約4.2億円/年

パーツ; 0.1円当たり 約3.0億円/年

## ③HDDサスペンション事業について

### ・HDD需要見通し

09年実績      10年予想

557百万台      640百万台

HDD需要は暦年の台数

### ・サスペンション計画数量(百万個)

10年3月期実績      11年3月期予想

816百万個      1,157百万個

国内は10年4月～11年3月の間の合計数量

海外拠点は、10年1月～12月の間の合計数量

(単位:億円)

	10年3月期 実績	11年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	4,041	4,300	+259	+6.4%
営業利益	188	280	+92	+49.0%
経常利益	176	280	+104	+58.8%
当期利益	103	170	+67	+65.2%

# 今期の見通し

(単位:億円)

分野別	項目	10年3月期	11年3月期	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	816	900	+84	+10.3%
	営業利益	5	42	+37	+797.4%
	率	0.6%	4.7%	—	—
シート	売上高	1,633	1,720	+87	+5.3%
	営業利益	69	90	+21	+31.4%
	率	4.2%	5.2%	—	—
精密部品	売上高	1,269	1,350	+81	+6.4%
	営業利益	93	120	+27	+28.4%
	率	7.4%	8.9%	—	—
産業機器 ほか	売上高	323	330	+7	+2.3%
	営業利益	21	28	+7	+32.0%
	率	6.6%	8.5%	—	—
合計	売上高	4,041	4,300	+259	+6.4%
	営業利益	188	280	+92	+49.0%
	率	4.6%	6.5%	—	—

# 今期の見通し

(単位:億円)

分野別	項目	10年3月期	11年3月期	増減額	増減率
日本	売上高	3,044	3,130	+86	+2.8%
	営業利益	97	170	+73	+75.1%
	率	3.2%	5.4%	—	—
北米	売上高	375	390	+15	+4.0%
	営業利益	6	10	+4	+60.8%
	率	1.7%	2.6%	—	—
アジア	売上高	794	930	+136	+17.0%
	営業利益	85	100	+15	+18.3%
	率	10.6%	10.8%	—	—
消去	売上高	▲172	▲150	+22	—
合計	売上高	4,041	4,300	+259	+6.4%
	営業利益	188	280	+92	+49.0%
	率	4.6%	6.5%	—	—

## ①懸架ばね

### **[重要課題]**

- ・収益性の回復

### **[対策]**

- ・新興国市場での確実な受注
- ・マーケットシェアの拡大
- ・技術力、価格競争力の強化
- ・現調化の推進

## ②シート

### **[重要課題]**

- ・収益の確保と事業拡大の基盤づくり

### **[対策]**

- ・顧客に評価される技術の深耕
- ・軽量化技術の追求
- ・乗り心地解析、評価の定量化

## ③精密部品

### 〔重要課題〕

- ・HDDサスペンションのシェア拡大
- ・グローバル成長戦略の実現
- ・製品、サービス競争力の強化

### 〔対策〕

- ・技術、品質サービスによる差別化
- ・グローバル供給体制の確立と拡販活動の推進
- ・客先ニーズの発掘と開発の推進による新製品の創出

## ④産業機器ほか

### **[重要課題]**

- 事業拡大の基盤づくり

### **[対策]**

- 経営リソースの最適配置
- 事業の再構築と収益の回復
- コア技術を生かした新製品および差別化商品の開発とものづくりの強化

## 〔注記〕

業績見通しには、現時点での入手可能な情報と当社の今後の計画等の将来予測が含まれています。国内外の経済事情、為替レート等不確実な要因の状況変化によって、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。